SONY

3-243-822-**01** (1)

ラジオカセットプレーヤー

取扱説明書
Operating Instructions (page 47)
사용설명서 （57페이지）

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WALKMAN

WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。

WM-FX888

安全のために

⚠危険

- 充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないでください。充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。
- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電池ケースに入れてください。ケースに入れずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の＋と－がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池や乾電池ケースはコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

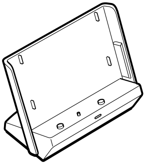
目次

主な特長

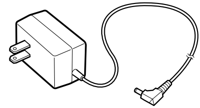
- ワンタッチで自分の地域の放送局を呼び出せる、**オートステーションプリセット（ASP）。**（10ページ）
- テープに合わせて選べる3種類の音質、REVIVE（リバイブ）、MEGA BASS（メガベース）、GROOVE（グルーブ）。（30ページ）
- 16倍速の高速サーチで、前後9曲の頭出しをするAMS。（16ページ）
- 充電式電池と乾電池の併用で、約58時間の長時間再生ができる、**スタミナタイプ**。（34ページ）
- 使いやすい、**バックライト付き液晶リモコン**。
- 聞きたい1曲を繰り返し聞ける、**曲おぼえ1曲リピート**。（15ページ）

付属品を確かめる

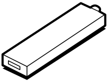
●充電スタンド



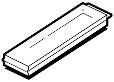
●ACパワーアダプター
(充電スタンド用)
国内モデルのみ



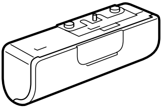
●充電式ニッケル水素電池
NH-14WM (A)



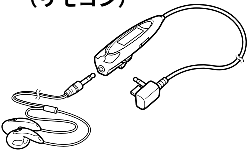
●充電池ケース



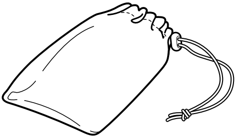
●乾電池ケース



●リモコンつきヘッドホン（リモコン）



●キャリングポーチ

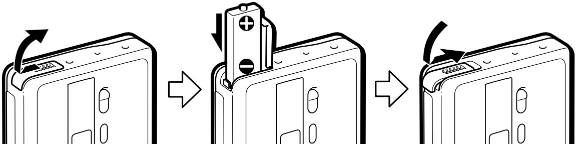


●取扱説明書
●ソニーご相談窓口のご案内
●保証書

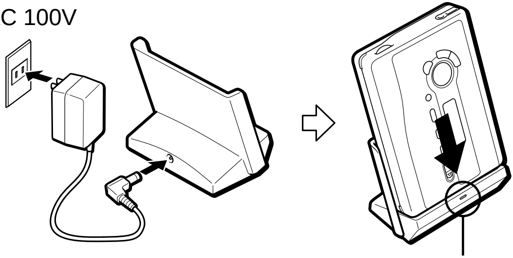
準備する

お買い上げ時には、充電式電池をまず充電してください。

1 充電式電池を本体に入れる



2 充電する



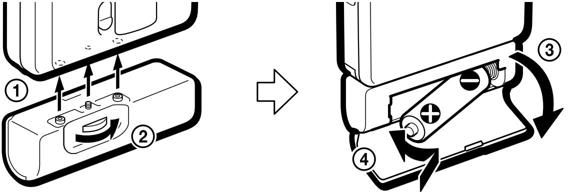
約6時間で充電が完了し、ランプが消えます。

充電中は使用しないでください。ご使用になるときは充電スタンドからはずしてください。

- 充電スタンドにのせたまま操作をすると充電式電池が充電されません。
- 充電スタンドにのせたまま操作をすると正しく動作しない場合があります。
- 本体に充電式電池を入れずに充電スタンドにのせないでください。正しく動作しない場合があります。

乾電池で使うときは

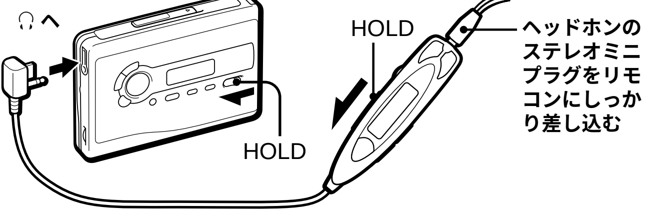
別売りのソニーアルカリ乾電池（単3形）を1本入れます。
充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。



乾電池ケースを本体に取り付ける

図のように必ず⊖側から入れてください

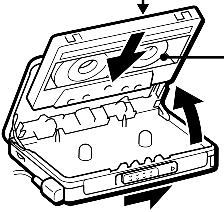
3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する



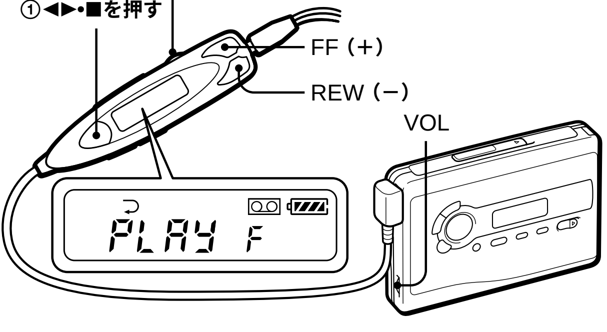
テープを聞く

TYPE I（ノーマル）、TYPE II（ハイポジション）、TYPE IV（メタル）のテープを自動的に判別し、再生します**（オートテープセレクター機能）**。

1 カセットを入れる



2 再生する（リモコンで操作する）



リモコンで音量調節するときは、本体のVOLつまみを6程度にします。本体で音量調節するときは、リモコンのVOLつまみを最大にします。

その他のテープ操作

操作	押すボタン	動作の確認音（リモコン表示）
再生面の切り換え	再生中に◀▶•■を2秒以上	FWD（ふた側）面スタートピ REV（本体側）面スタートピピ
停止	再生中に◀▶•■を1回	ピ
早送り/巻き戻し（停止中）*	停止中にFFまたはREWを1回	ピ（「FF」または「REW」が点灯）
聞いている曲を繰り返し再生（1曲リピート）	再生中にすばやく◀▶•■を2回 *（解除するには、1回押す）*	ピピーピ、…（「REP」が点灯） 巻き戻し中は「ピピーピ」を繰り返す（「REP」は点滅）
早送りして反対面を再生（スキップリバース）	停止中にFFを2秒以上	ピ→ピ→ピ、ピ、…（「FF」が点滅）
巻き戻して最初から再生（オートプレイ）	停止中にREWを2秒以上	ピ→ピ→ピピ、ピピ、…（「REW」が点滅）

* 早送り、巻き戻し中に◀▶•■ボタンを押すと再生状態になります。

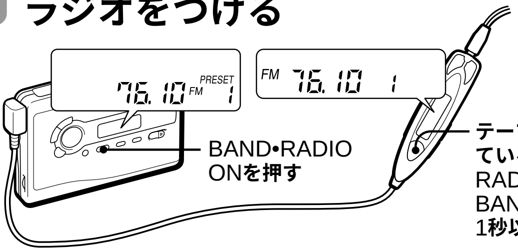
上記以外のテープ操作は、「テープを聞く－応用」（15ページ）をご覧ください。

! カセットぶたを開けるときは、テープが停止していることを確認してください。動作中にカセットぶたを開けるとテープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。

ラジオを聞く

本機には全国8地域と新幹線の主な放送局がエリア番号に記憶されているので、エリア番号を選べば、すぐに受信できます（**エリアコール機能**）。

1 ラジオをつける

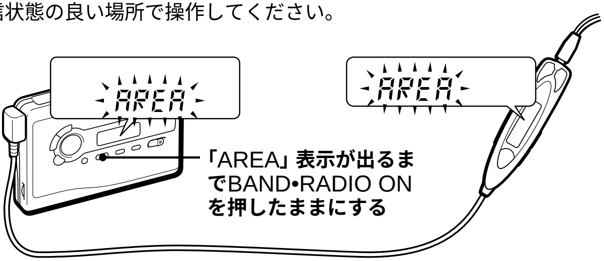


テープ再生中の場合は、◀▶•■を1度押してテープを止めてから、1秒以上押してラジオをつけてください。

2 地域を選ぶ

今いる場所で聞ける放送局を自動的に呼び出すには（ASP機能）

受信状態の良い場所で操作してください。

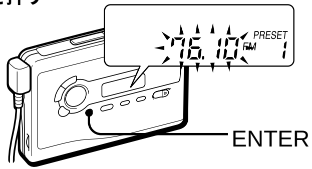


今いる場所のエリア番号を自動的に選び、エリア番号が選べない場合は、その場所で受信できるAM、FM、TV局を自動的に探してプリセット番号に記憶していきます。
表示窓にFMの周波数と「PRESET 1」表示が点灯したら呼び出し完了です。

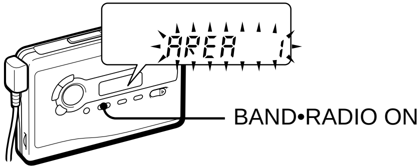
自分でエリアを選ぶには（マニュアルエリアコール）

1〜8またはJRのエリア番号を選ぶと、26から27ページの表にある放送局が一度に記憶されます。

①ENTERボタンを押す



②「AREA 1」表示が点滅するまでBAND•RADIO ONボタンを押したままにする

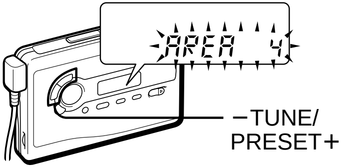


（次ページへつづく）

③表示の点滅中にTUNE/PRESET＋**または**－**ボタンを繰り返し押して**1〜8**または**JR**のエリア番号を選ぶ**

TUNE/PRESET＋ボタンを押すごとにエリア番号が、1→2→3→4→5→6→7→8→JR→USA*→Eur*→1→2→3…と変わります。

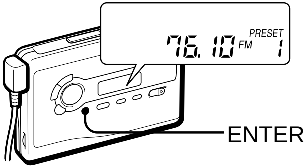
1: 札幌　2: 仙台　3: 北関東　4: 南関東　5: 名古屋
6: 大阪　7: 広島　8: 福岡　JR: 新幹線



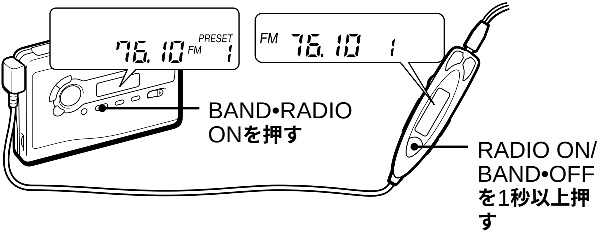
* エリア番号USAとEurは海外でラジオを使うときのものです（「海外でラジオを聞く」（28ページ）参照）。

- 表示の点滅が止まった場合は手順2-①から操作し直してください。
- 各エリア番号に記憶されている放送局については「放送局一覧」（26〜27ページ）をご覧ください。

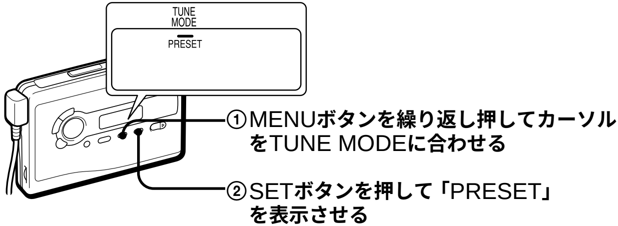
④ENTER**ボタンを押す**



3 AM、FM、またはTVを選ぶ

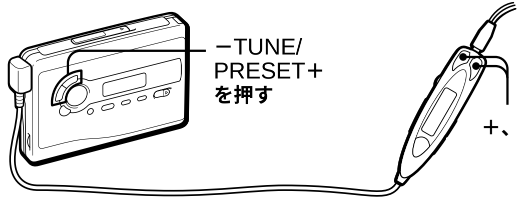


4 プリセット選局モードにする



（次ページへつづく）

5 放送局を選ぶ



ラジオを消すには

本体のRADIO OFFボタンまたはリモコンのRADIO ON/BAND•OFFボタンを押します。

次にラジオを聞くときは

呼び出した放送局が記憶されています。同じ地域で聞くときは、手順2の操作は不要です。放送局が異なる地域で聞くときは、手順1〜5をやり直します。

受信状態をよくするには

AM放送

アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、聞きやすいように調節します。

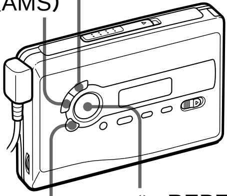
FM放送、TV放送

ヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけのばして使います。

うまく受信できないときは

手動で受信して、記憶させてください。(「自分で周波数を合わせる」(21ページ)「放送局を自分で設定する」(22ページ)参照)

本体で操作する

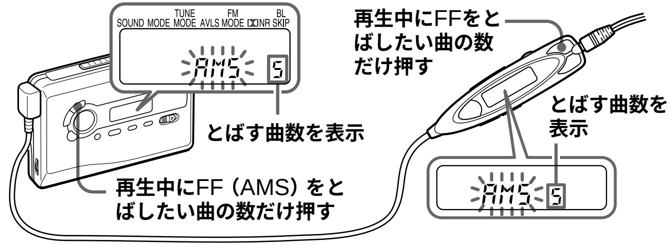


操作	押すボタン	動作の確認音
再生	◀▶•REPEAT	FWD（ふた側）面スタート ピ REV（本体側）面スタート ピピ
再生面の切り換え	再生中に◀▶•REPEAT	FWD（ふた側）面スタート ピ REV（本体側）面スタート ピピ
停止	■（停止）	ピ
早送り/巻き戻し（停止中）*	停止中にFFまたはREWを1回	ピ
聞いている曲を繰り返し再生（1曲リピート）	再生中に◀▶•REPEATを2秒以上 *（解除するには*、もう一*度押す）*	ボタンを押したときと巻き戻し中に「ピピーピ」（巻き戻し中は繰り返す）
早送りして反対面を再生（スキップリバース）	停止中にFF（AMS）を2秒以上	ピ→ピ→ピ、ピ、…
巻き戻して最初から再生（オートプレイ）	停止中にREW（AMS）を2秒以上	ピ→ピ→ピピ、ピピ、…

* 早送り、巻き戻し中にリモコンの◀▶•■ボタンを押すと再生状態になります。

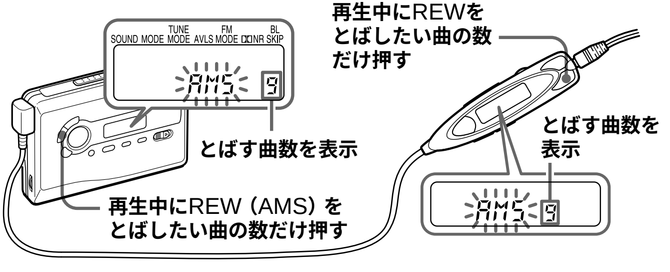
好きな曲を頭出しする（AMS−オートミュージックセンサー）

早送りして何曲か先の曲を再生するには



確認音: ピ→ あと1曲になるとピッピー、ピッピー、・・・

巻き戻して何曲か前の曲を再生するには



確認音：ピ→ あと1曲になるとピピッピー、ピピッピー、・・・

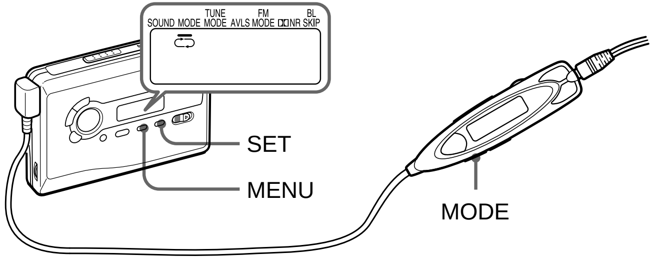
最大9曲までとばすことができます。

AMS、1曲リピートが正しく動作しないことがあります

- AMSや1曲リピート機能では曲間の4秒以上のあき（無音部分）を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後に操作したときは、頭出しができないことがあります。また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。
- AMSや1曲リピートの途中で停止することがありますが、故障ではありません。詳しくは「故障かな？」（39ページ）をご覧ください。

テープ走行のしかたを選ぶ（MODE）

（モード）



テープ走行のしかたを選べます。

リモコン表示	本体表示（MODE）	モード
↺	↺	両面を繰り返し再生
↩	↩	両面を1回再生*

* REV面から始めたときはREV面のみを再生して止まります。

リモコンで操作するには

MODEボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

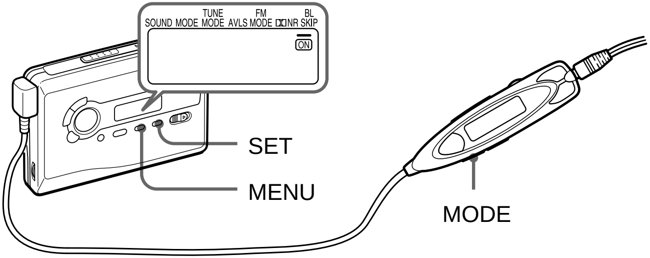
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、MODEの位置に合わせます。SETボタンを押して、表示を切り換えます。

ご注意

• 設定は、電池を交換しても消えません。

長いあきを飛ばす（ブランクスキップ）



再生するときに、曲間の長いあきをとばして次の曲の頭出しをします。

リモコン表示	本体表示（BL SKIP）	モード
BL SKIP	ON	BL SKIP入
表示なし	表示なし	BL SKIP切

リモコンで操作するには

MODEボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、BL SKIPの位置に合わせます。SETボタンを押して、「ON」を表示させます。

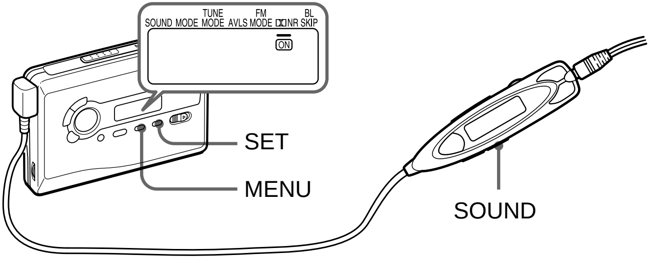
ブランクスキップが正しく動作しないことがあります

- ブランクスキップでは曲間に12秒以上のあきを見つけると、早送りして次の曲を再生しています。録音した機器によっては曲間のあきが完全な無音部分にならないために、ブランクスキップが動作しないことがあります。また、小さい音が長く続く部分があると、曲の途中でも早送りすることがあります。その場合には、ブランクスキップを解除してください。
- 各面の始めの無音部分が10秒以上の場合、最初の曲の頭の部分が飛ばされてしまい、途中から再生が始まることがあります。
- ブランクスキップの途中で停止することがありますが、故障ではありません。詳しくは「故障かな？」(39ページ)をご覧ください。

ご注意

- リモコンでメニュー設定の操作をしている間は、リモコンではテープ操作はできません。
- 設定は、電池を交換しても消えません。

ドルビー*B NRで録音されたテープを再生する



録音の特性に合わせた再生ができます。ドルビーB NRを使わずに録音されたテープの場合には「ON」または「DD」を消します。

* ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby､ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

リモコン表示	本体表示（DDNR）	モード
DD	ON	ドルビーB NR入
表示なし	表示なし	ドルビーB NR切

リモコンで操作するには

表示窓に「DD」が表示されるまでSOUNDボタンを押し続けます。

ドルビーB NRを使わずに録音されたテープの場合には

SOUNDボタンを押して「DD」の表示を消します。

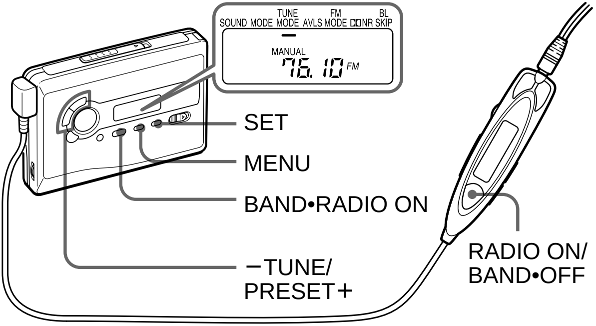
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、DDNRの位置に合わせます。SETボタンを押して、「ON」を表示させます。

ご注意

- 設定は、電池を交換しても消えません。

自分で周波数を合わせる（マニュアル選局）



1 BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける

（リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

2 BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押して、AM、FMまたはTVを選ぶ

（リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

3 本体のMENUボタンを繰り返し押して、カーソルをTUNE MODEの位置に合わせる

4 SETボタンを押して「MANUAL」を表示させる

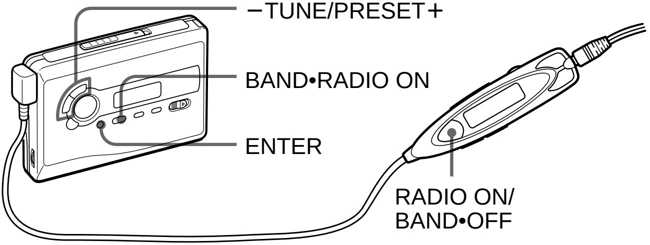
5 TUNE/PRESET＋または－ボタンを繰り返し押して表示窓を見ながら周波数を合わせる

（リモコンでは、+または–ボタンを繰り返し押す）

TUNE/PRESET＋または－ボタンを長めに押して離すと、電波が強い放送局を自動的に受信して止まります（オートスキャン）。電波が弱くて止まらないときは、TUNE/PRESET＋または－ボタンを繰り返し押して周波数を合わせてください。

放送局を自分で設定する

AM、FM、TVを各8局まで記憶できます。



❐ 自動で受信して記憶させる（オートメモリースキャン）

受信できる局を自動的に記憶させます。受信状態のよい場所で操作してください。

1 BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける

（リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

2 BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押して、AM、FMまたはTVを選ぶ

（リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

3 本体の表示窓に「A」表示が出るまでENTERボタンを押したままにする

受信できる放送局が自動的に記憶されていきます。記憶が完了すると、周波数の表示が止まり、プリセット番号が表示されます。

記憶した放送局を受信するには

24ページをご覧ください。

放送局を記憶している間に電源を抜かないでください

受信した放送局が記憶されないことがあります。

ご注意

- 電波が弱いときは記憶できる放送局が少なくなる場合があります。
- エリア番号を切り換えると、放送局の記憶は26〜27ページの表のプリセット番号の内容に戻ります。

❐ 手動で受信して記憶させる（マニュアルメモリー）

1 BAND•RADIO ONボタンを押してラジオをつける

（リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

2 BAND•RADIO ONボタンを繰り返し押して、AM、FMまたはTVを選ぶ

（リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

3 ENTERボタンを押す

周波数表示が点滅します。

4 表示の点滅中*にTUNE/PRESET＋または－ボタンを繰り返し押して記憶させたい周波数を表示させ、ENTERボタンを押す

プリセット番号表示が点滅します。

5 表示の点滅中*にTUNE/PRESET＋または－ボタンを繰り返し押して記憶させたいプリセット番号を点滅させる

6 表示の点滅中にENTERボタンを押す

これで、選んだ放送局が、選んだプリセット番号に記憶されました。

* 表示の点滅が止まった場合は、手順3から操作し直してください。

記憶した放送局を受信するには

24ページをご覧ください。

ご注意

- 同じプリセット番号に、新たに別の放送局を記憶させると、すでに記憶されていた放送局は消去されます。

（次ページへつづく）

放送局の記憶を消すには

1 23**ページの「手動で受信して記憶させる」の手順**1**から**3**を行い、周波数表示を点滅させる**

2 **表示の点滅中に**TUNE/PRESET＋**または**－**ボタンを繰り返し押して「－－－－」**＊**を表示させる**

＊「－－－－」は最大周波数あるいは最小周波数の次に表示されます。

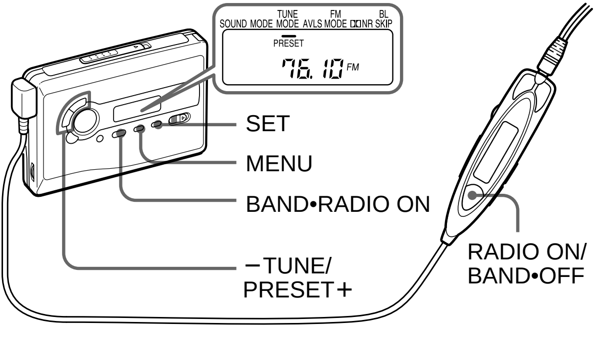
3 ENTER**ボタンを押す**

プリセット番号表示が点滅します。

4 **表示の点滅中に**TUNE/PRESET＋**または**－**ボタンを繰り返し押して消したい放送局のプリセット番号を選ぶ**

5 ENTER**ボタンを押す**

❐ 記憶した放送局を受信する（プリセット選局）



1 BAND•RADIO ON**ボタンを押してラジオをつける**

（リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

2 BAND•RADIO ON**ボタンを繰り返し押して、**AM**、**FM **またはTVを選ぶ**

（リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す）

3 **本体の**MENU**ボタンを繰り返し押して、カーソルを** TUNE MODE**の位置に合わせる**

4 SET**ボタンを押して「**PRESET**」を表示させる**

5 TUNE/PRESET＋**または**－**ボタンを繰り返し押してプリセット番号を選ぶ**

（リモコンでは、+または–ボタンを繰り返し押す）

ラジオを聞くときのご注意

受信するとき

- このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため、一部の地域ではテレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 本体やリモコンを他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、本機のラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 一部が金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなることがあります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

ステレオ放送を聞くとき

FMのステレオ放送を聞くときは本体のMENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルをFM MODEの位置に合わせ、SETボタンを押して表示なし（ステレオ）にします。電波が強すぎてひずんで聞こえる場合は「LOCAL」を表示させます。雑音が多いときは「MONO」（モノラル）にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。なお、TVおよびAMはステレオにはなりません。

放送局一覧

エリア番号表（エリアコールの放送局一覧）

エリアコールについて詳しくは10〜12ページをご覧ください。

AREA 1　札幌 (Sapporo)

バンド	プリセット番号	周波数（チャンネル）	放送局名
AM	1	567kHz	NHK第1放送
	2	747kHz	NHK第2放送
	3	1287kHz	北海道放送
	4	1440kHz	札幌テレビ放送
FM	1	80.4MHz	FM北海道
	2	82.5MHz	FMノースウェーブ
	3	85.2MHz	NHK FM札幌
	4	88.2MHz	NHK FM名寄
TV	1	1 ch	HBC北海道放送
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	5 ch	STV札幌テレビ放送
	4	12 ch	NHK教育テレビ

AREA 2　仙台 (Sendai)

バンド	プリセット番号	周波数（チャンネル）	放送局名
AM	1	891kHz	NHK第1放送
	2	1089kHz	NHK第2放送
	3	1260kHz	東北放送
FM	1	77.1MHz	FM仙台
	2	82.5MHz	NHK FM仙台
TV	1	1 ch	東北放送
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	5 ch	NHK教育テレビ
	4	12 ch	仙台放送

AREA 3　北関東 (Northern Kanto)

バンド	プリセット番号	周波数（チャンネル）	放送局名
AM	1	594kHz	NHK第1放送
	2	693kHz	NHK第2放送
	3	810kHz	AFN (旧FEN)
	4	954kHz	TBS
	5	1134kHz	文化放送
	6	1197kHz	茨城放送
	7	1242kHz	ニッポン放送
	8	1530kHz	栃木放送
FM	1	76.4MHz	FM栃木
	2	78.8MHz	放送大学
	3	80.0MHz	TOKYO FM
	4	80.3MHz	NHK FM宇都宮
	5	81.6MHz	NHK FM前橋
	6	83.2MHz	NHK FM水戸
	7	86.3MHz	FM群馬
TV	1	1 ch	NHK総合テレビ
	2	3 ch	NHK教育テレビ
	3	4 ch	日本テレビ
	4	6 ch	TBSテレビ
	5	8 ch	フジテレビ
	6	10 ch	テレビ朝日
	7	12 ch	テレビ東京

AREA 4　南関東 (Southern Kanto)

バンド	プリセット番号	周波数（チャンネル）	放送局名
AM	1	594kHz	NHK第1放送
	2	693kHz	NHK第2放送
	3	810kHz	AFN (旧FEN)
	4	954kHz	TBS
	5	1134kHz	文化放送
	6	1242kHz	ニッポン放送
	7	1422kHz	ラジオ日本
FM	1	76.1MHz	FMインターウェーブ
	2	78.0MHz	FMサウンド千葉
	3	78.6MHz	FM 富士
	4	79.5MHz	FM 埼玉
	5	80.0MHz	TOKYO FM
	6	81.3MHz	FM ジャパン
	7	82.5MHz	NHK FM東京
	8	84.7MHz	横浜FM
TV	1	1 ch	NHK総合テレビ
	2	3 ch	NHK教育テレビ
	3	4 ch	日本テレビ
	4	6 ch	TBSテレビ
	5	8 ch	フジテレビ
	6	10 ch	テレビ朝日
	7	12 ch	テレビ東京

AREA 5　**名古屋** (Nagoya)

バンドプリセット番号		周波数(チャンネル)	放送局名
AM	1	729kHz	NHK第1放送
	2	909kHz	NHK第2放送
	3	1053kHz	CBC中部日本放送
	4	1332kHz	東海ラジオ
	5	1431kHz	岐阜ラジオ
FM	1	77.8MHz	FM名古屋
	2	78.9MHz	FM三重
	3	80.7MHz	FM愛知
	4	81.8MHz	NHK FM津
	5	82.5MHz	NHK FM名古屋
	6	83.6MHz	NHK FM岐阜
TV	1	1 ch	東海テレビ
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	5 ch	CBC中部日本放送
	4	9 ch	NHK教育テレビ
	5	11 ch	名古屋テレビ

AREA 6　**大阪** (Osaka)

AM	1	558kHz	ラジオ関西
	2	666kHz	NHK第1放送
	3	828kHz	NHK第2放送
	4	1008kHz	ABC朝日放送
	5	1143kHz	KBS京都
	6	1179kHz	毎日放送
	7	1314kHz	ラジオ大阪
	8	1431kHz	和歌山放送
FM	1	76.5MHz	関西インターメディア
	2	80.2MHz	FM802
	3	82.8MHz	NHK FM京都
	4	85.1MHz	FM大阪
	5	86.5MHz	NHK FM神戸
	6	88.1MHz	NHK FM大阪
	7	89.4MHz	FM京都
	8	89.9MHz	FM兵庫
TV	1	2 ch	NHK総合テレビ
	2	4 ch	毎日テレビ
	3	6 ch	ABC朝日テレビ
	4	8 ch	関西テレビ
	5	10 ch	読売テレビ
	6	12 ch	NHK教育テレビ

AREA 7　**広島** (Hiroshima)

バンドプリセット番号		周波数(チャンネル)	放送局名
AM	1	702kHz	NHK第2放送
	2	918kHz	山口放送
	3	1071kHz	NHK第1放送
	4	1116kHz	南海放送
	5	1350kHz	中国放送
	6	1575kHz	AFN (旧FEN)
FM	1	78.2MHz	広島FM
	2	88.3MHz	NHK FM広島
TV	1	3 ch	NHK総合テレビ
	2	4 ch	中国放送テレビ
	3	7 ch	NHK教育テレビ
	4	12 ch	広島テレビ

AREA 8　**福岡** (Fukuoka)

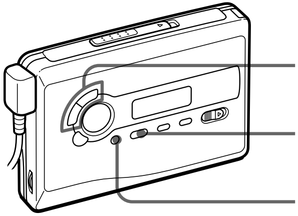
AM	1	612kHz	NHK第1放送
	2	1017kHz	NHK第2放送
	3	1278kHz	RKB毎日放送
	4	1413kHz	九州朝日放送
FM	1	77.9MHz	FM佐賀
	2	78.7MHz	FM九州
	3	80.7MHz	FM福岡
	4	81.6MHz	NHK FM佐賀
	5	84.8MHz	NHK FM福岡
TV	1	1 ch	九州朝日放送
	2	3 ch	NHK総合テレビ
	3	4 ch	RKB毎日放送
	4	6 ch	NHK教育テレビ
	5	9 ch	テレビ西日本放送

JR　**JR新幹線*** (Shinkansen)

FM	1	76.0MHz	―
	2	76.6MHz	―
	3	77.5MHz	―
	4	78.8MHz	―
	5	79.6MHz	―

* 東京～博多間の新型車両の列車のみ（2階建て車両とグリーン車を除く）

海外でラジオを聞く



1 BAND•RADIO ON**ボタンを押してラジオをつける**

2 ENTER**ボタンを押して、周波数表示を点滅させる**

3 **「**AREA 1**」表示が点滅するまで**BAND•RADIO ON**ボタンを押したままにする**

4 **表示の点滅中***に**TUNE/PRESET＋**または－ボタンを繰り返し押して「**USA**」または「**Eur**」を選ぶ**

* 表示の点滅が止まった場合は手順2から操作し直してください。

受信範囲は下記のようになります。

使う地域	選ぶエリア番号	受信周波数
アメリカ合衆国、カナダ 中南米諸国	USA	FM: 87.5 - 108MHz AM: 530 - 1 710kHz
ヨーロッパ、その他	Eur	FM: 87.5 - 108MHz AM: 531 - 1 602kHz

5 ENTER**ボタンを押す**

6 **「**1**」の表示が「**A**」に変わるまで**BAND•RADIO ON**ボタンを押したままにする**

その場所で受信できるAM、FMの放送局を自動的に記憶します。

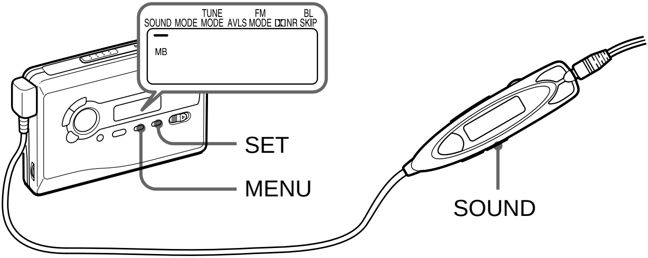
7 「記憶した放送局を受信する」（24ページ）にしたがって受信する

うまく受信できない場合は、「自分で周波数を合わせる」（21ページ）または「放送局を自分で設定する」（22ページ）にしたがって受信してください。

日本の周波数に戻すには

手順1から3にしたがって操作し、手順4で「AREA1〜8」または「JR」を選んでENTERボタンを押します。

高音または低音を強調する（SOUND）



リモコンまたは本体で、好みの音質を選べます。

リモコン表示	音質
RV（リバイブ）	高音を強調（古いテープなど、高音にメリハリがないテープを再生するとき）
MB（メガベース）	低音を強調
GRV（グルーブ）	低音をより強調
表示なし	通常の音質

リモコンで操作するには

SOUNDボタンを繰り返し押して、設定を選びます。
通常の音質を選ぶ場合は、表示なしにしてください。

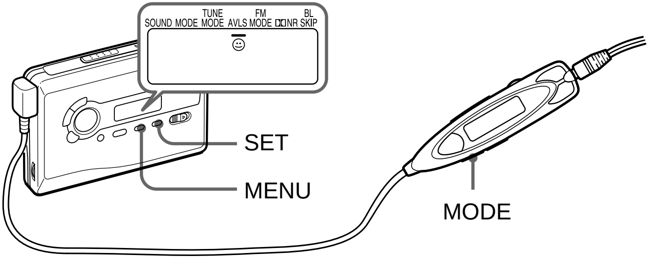
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、SOUNDの位置に合わせます。SETボタンを押して、設定を選びます。通常の音質を選ぶ場合は、表示なしにしてください。

ご注意

- GRVにしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、他の設定を選ぶか、または本体の音量を下げてお聞きください。
- 設定は、電池を交換しても消えません。

音もれを抑え耳にやさしい音にする（AVLS—快適音量）



リモコン表示	本体表示（AVLS）	モード
AVLS	☺	AVLS入
表示なし	表示なし	AVLS切

リモコンで操作するには

表示窓に「AVLS」が表示されるまでMODEボタンを押します。

AVLSを解除するには

「AVLS」が消灯するまでMODEボタンを押したままにします。

本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、AVLSの位置に合わせます。SETボタンを押して、「☺」を表示させます。

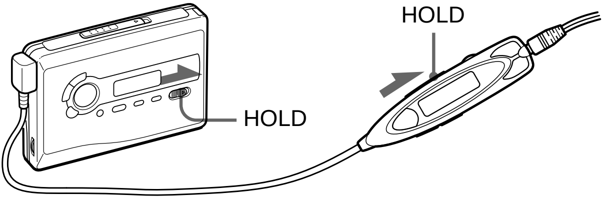
AVLSを解除するには

SETボタンを押して、「☺」の表示を消します。

ご注意

- AVLSの設定は、電池を交換すると解除されます。

誤操作を防ぐ（ホールド機能）

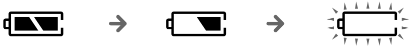


HOLDスイッチを矢印の方向にずらして、誤操作を防ぎます。

乾電池・充電式電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、電池交換お知らせ表示が点滅します。テープ走行が不安定になったり雑音が多くなるので、乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電し直してください。
乾電池は、別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

電池の残量がなくなってくると、表示でお知らせします

リモコン表示			
本体表示			
意味	残量は充分です。	残量が少なくなってきました。	電池が消耗しています。しばらくすると、本体の動作が止まります。

ご注意

- 100%充電されていない充電式電池を入れても残量表示がすべて点灯することがありますが、充電量(充電時間)に応じて、持続時間は短くなります。
- 早送りや巻き戻し中、または極端に温度が低い場所で使用しているときは、残量が少なく表示されることがあります。

(次ページへつづく)

電池の持続時間 *(JEITA*)*

使用電池	テープ再生時	ラジオ受信時
ソニーアルカリ 乾電池LR6（SG）**	約36時間	約32時間
充電式ニッケル水素電池 NH-14WM（A） （100%充電にて）	約22時間	約22時間
充電式ニッケル水素電池と ソニーアルカリ乾電池 の併用	約58時間	約54時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。（ソニーHF シリーズカセットテープ使用）

**日本製ソニースタミナアルカリ乾電池LR6（SG）で測定しています。

ご注意

- 電池持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により短くなる場合があります。

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、別売りのクリーニングカセット（C-1KW/CHK-1W）でヘッド、ピンチローラーをきれいにしてください。

クリーニングカセットは指定のものをお使いください

他のクリーニングカセットを使うと故障の原因となることがあります。

本体表面が汚れたときは

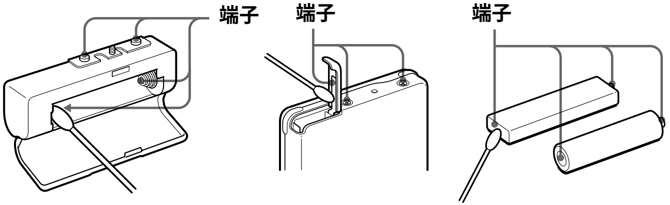
水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れについて

常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音の原因になることがあります。

端子のお手入れについて

定期的に図のように各端子を綿棒や柔らかい布などで、きれいにしてください。



使用上のご注意

充電について

- 付属の充電スタンドは本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは指定の電池以外は充電しないでください。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- 充電が終わったら、早めに本体を充電スタンドからはずし、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- 充電中は充電スタンドや充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- 充電式電池は約300回充電できます。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

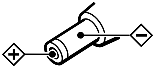
充電式電池の回収•リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会のホームページhttp://www.baj.or.jp/を参照してください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

付属の充電スタンド専用のACパワーアダプターについて

- この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ:JEITA規格)をご使用ください。それ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。



極性統一形プラグ

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  ー温度が非常に高いところ(60℃以上)。
  ー直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  ー窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
  ー風呂場など湿気の多いところ。
  ー磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  ーほこりの多いところ。
- 温度が高いところ(40℃以上)や低いところ(0℃以下)では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- 長い間本機を使わなかったときは、1度本機を数分間再生状態にしてからお使い始めください。
- 動作中はカセットぶたを開けないでください。テープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。テープがたるんでしまったときは、必ずたるみを取ってから使用してください。
- 長時間テープについて
  90分をこえるテープはなるべくお使いにならないでください。テープが非常に薄いため、動作が不安定になって音がゆれたり、まれに機械に巻き込まれる場合があります。また、音が小さかったり、高音ののびが悪くなることがあります。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはテクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センターにご相談ください。

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

(次ページへつづく)

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで本機の操作はできません。

万一故障した場合は、内部を開けずにテクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外では保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
ブランクスキップ、AMS、1曲リピートや早送り・巻き戻しをするとテープが止まる	消耗した充電式電池または乾電池を使っている。マンガン乾電池を使っている。（ブランクスキップやAMSなどは再生と比べて電流を多く消費するためです。）	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
「ピピピピ」とエラー音が鳴り、操作できない	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
操作できない	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
	本体またはリモコンのホールド機能が働いている。	ホールドを解除する。「誤操作を防ぐ」（32ページ）参照
「ピピピピピピピピ」と鳴り、テープ操作ができない	カセットが入っていない。	カセットを入れる。
雑音が入ることがある	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などから離して使用する。
	ACパワーアダプターの近くで使用している。	ACパワーアダプターから離して使用する。
テープ再生中に勝手に早送りになる	ブランクスキップが働いている。	ブランクスキップを解除する。「長いあきを飛ばす」（18ページ）参照

（次ページへつづく）

症状	原因	処置
音が途切れる 雑音がする	ヘッドホンのプラグが汚れている。	ヘッドホンのステレオミニプラグおよびリモコンのプラグをきれいにクリーニングする。
	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
音量が大きくならない	AVLSが働いている。	AVLSを解除する。「音もれを抑え耳にやさしい音にする」（31ページ）参照
低音が強すぎたり、ひずんだように聞こえる	音質がRV、MBまたはGRVになっている。	音質を通常の設定にする。「高音または低音を強調する」（30ページ）参照
ASP機能を使って聞きたい局が呼び出せない（国内モデルのみ）	受信状態が悪いところにいる（電波が弱いところにいる、近くに放送局があるなど）。	• 手動で呼び出す。「自分で周波数を合わせる」（21ページ）参照 • 手動で記憶させる。「放送局を自分で設定する」（22ページ）参照
動作や表示がおかしい	——	いったん電源・電池（乾電池、充電式電池）をはずして、15秒以上たってから入れ直す。
表示窓の表示が一瞬消えることがある	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
充電スタンドのCHARGEランプが点灯しない	充電式電池が入っていない。	充電式電池を本体に入れる。
	本体または充電スタンドの端子が汚れている。	端子をきれいにクリーニングする。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではカセットプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、サービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外での保証とアフターサービスについて

- 保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- 海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

主な仕様

●カセットプレーヤー部・共通部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲*	DOLBY NR OFF時：40〜15 000 Hz
出力端子	ヘッドホンジャック（専用リモコンジャック）1個 負荷インピーダンス　8〜300 Ω
実用最大出力(DC時)*	4 mW + 4 mW（16 Ω）
電源	DC 1.5 V 充電式電池（付属：NH-14WM (A)、1.2 V、1350 mAh (MIN)、Ni-MH)、単3形乾電池1個
電池持続時間*	乾電池、充電式電池の持続時間については「電池の持続時間」（34ページ）をご覧ください。
本体寸法	約108.4 × 77.7 × 23.0 mm（幅/高さ/奥行き、突起部含まず）
最大外形寸法	約108.4 × 77.7 × 23.4 mm（幅/高さ/奥行き）（JEITA*）
質量	約160 g（本体のみ） 約187 g（充電式電池含む）（JEITA*）

●ラジオ部

受信周波数	FM（ステレオ）：76.0〜90.0MHz AM（モノラル）：531〜1 710kHz TV（モノラル）：1〜12ch

●別売りアクセサリー

充電式ニッケル水素電池 NH-14WM、クリーニングカセット C-1KW、CHK-1W、ステレオイヤーレシーバー（ヘッドホン）** MDR-ED238SP（GROOVE対応）、MDR-Q33SL、MDR-E888SP、MDR-848SP、MDR-EX70SL

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

国によって扱っているアクセサリーが違います。詳しくはお買い上げ店、ソニーサービス窓口、海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

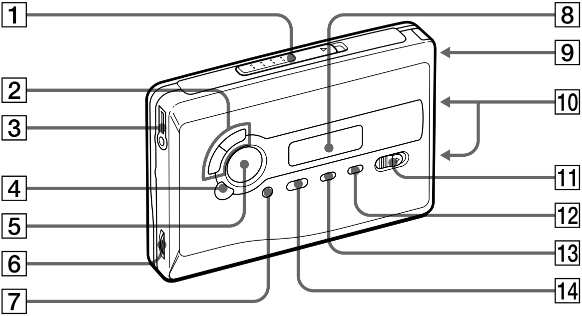
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

**ヘッドホンは、本体の∩ジャックに直接つなぐときも、リモコンにつなぐときも、ステレオミニプラグのものをお求めください。

各部のなまえ

●本体



1 OPEN（カセットぶた開け）つまみ

2 テープ時: FF（早送り）•AMS/REW（巻き戻し）•AMSボタン
ラジオ時: TUNE（選局）/PRESET＋、－（放送局番号選択）ボタン

3 ☊（ヘッドホン、リモコン）ジャック

4 テープ時: ■（停止）ボタン
ラジオ時: RADIO OFF（ラジオ電源切）ボタン

5 ◀▶（再生）•REPEATボタン

6 VOL（音量調節）つまみ

7 ENTER（入力）ボタン

8 液晶表示窓

9 充電式電池入れ

10 乾電池ケース用接点

11 HOLD（誤操作防止）スイッチ

12 SET（機能設定）ボタン

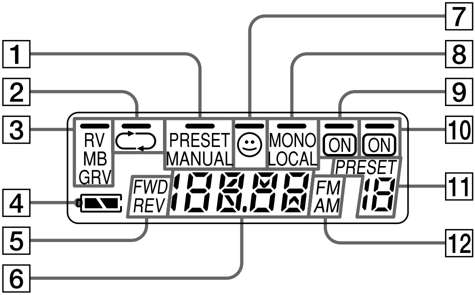
13 MENU（機能選択）ボタン

14 BAND/ASP（AM、FM、TV選択/オートステーション・プリセット*）•RADIO ON（ラジオ電源入）ボタン

* 短く押すとRADIOボタン、押したままにするとASPボタンとして働きます。

（次ページへつづく）

本体表示窓



1 選局方法表示（PRESET/MANUAL）

2 テープ走行方法表示（ / ）

3 音質表示（RV/MB/GRV）

4 電池交換お知らせ表示

5 テープ走行面表示（FWD/REV）

6 動作状態

7 AVLS表示

8 FM受信方法表示（MONO/LOCAL）

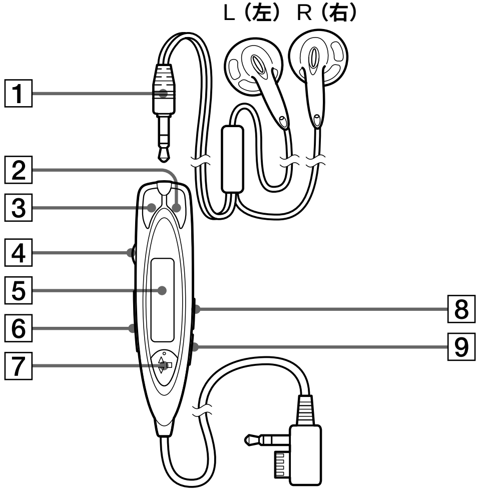
9 ドルビー B NR ON表示

10 ブランクスキップON表示

11 PRESET表示とプリセット番号

12 バンド表示（FM/AM）

●リモコンつきヘッドホン



1 ステレオミニプラグ

2 REW（–）（巻き戻し•AMS）ボタン

3 FF（+）（早送り•AMS）ボタン

4 VOL（ボリューム）（音量調節）つまみ

5 液晶表示窓*

6 HOLD（ホールド）（誤操作防止）スイッチ

7 テープ時: ◀▶（再生）•■（停止）ボタン
ラジオ時: RADIO（ラジオ） ON（オン）/BAND（バンド）•OFF（オフ）（ラジオ電源切）ボタン

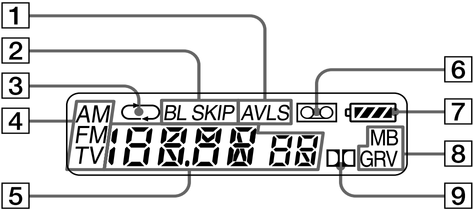
8 SOUND（サウンド）ボタン

9 MODE（モード）ボタン

* 液晶バックライトについて
リモコン操作時、本体操作時、電池残量表示が変化したときなどに、自動的に約5秒間点灯します。

（次ページへつづく）

リモコン表示窓



1 AVLS表示

2 BL SKIP(ブランクスキップ)表示

3 テープ走行方法表示
(⊂⊃ / ⊃)

4 バンド表示（FM/AM/TV）

5 テープ操作時:
テープ動作状態表示

ラジオ操作時:周波数表示

6 カセット有／無表示

7 電池交換お知らせ表示

8 音質表示（RV/MB/GRV）

9 ドルビーB NR ON(オン)表示

Preparations

Prepare a dry battery (not supplied) or the rechargeable battery (supplied).

Dry Battery

Attach the supplied battery case, and then insert one R6 (size AA) battery with correct polarity.

Note

- For maximum performance we recommend that you use a Sony alkaline battery.

Rechargeable Battery

1 Insert the supplied rechargeable battery (NH-14WM (A)) into the rechargeable battery compartment with correct polarity.

2 Connect the supplied AC power adaptor to the charging stand, plug in the AC power adaptor to the house current (mains).

3 Place the main unit on the charging stand.
The CHARGE lamp will light up.
Full charging takes about 6 hours.
The CHARGE lamp will go off when charging is complete.

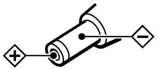
You can charge the battery about 300 times.

Notes

- Do not use the unit while charging. Remove the unit from the charging stand when using it.
  – If you operate the unit while charging, the battery will not be charged.
  – If you operate the unit while charging, it may cause malfunction.
  – Do not place the unit on the charging stand without the rechargeable battery. Otherwise, it may cause malfunction.
- Certain countries may regulate disposal of the battery used to power this product. Please consult your local authority.

Note on the AC power adaptor

Use only the supplied AC power adaptor. Do not use any other AC power adaptor.



Polarity of the plug

When to replace/charge the battery

Replace or charge the battery when "▭" flashes in the display.

Battery life

(Approx. hours) (JEITA*)

Sony alkaline LR6 (SG)**	
Tape playback	36
Radio reception	32

Rechargeable battery (NH-14WM (A))	
Tape playback	22
Radio reception	22

Sony alkaline LR6 (SG)** and Rechargeable NH-14WM (A)	
Tape playback	58
Radio reception	54

* Measured value by the standard of JEITA (Japan Electronics and Information Technology Industries Association). (Using a Sony HF series cassette tape)

** When using a Sony LR6 (SG) "STAMINA" alkaline dry battery (produced in Japan).

Note

- The battery life may be shorter depending on the operating condition, the surrounding temperature and battery type.

Playing a Tape

1 Insert a cassette and if the HOLD function is on, slide the HOLD switch in the opposite direction of the arrow to unlock the controls.

2 Press ◄►(play)•■(stop) on the remote control and adjust the volume with VOL. (On the main unit, press ◄►•REPEAT.)

When adjusting the volume on the remote control

Set the VOL control on the main unit to around 6.

When adjusting the volume on the main unit

Set the VOL control on the remote control at maximum.

Operation on the remote control

To	Press
Switch playback to the other side	◀▶•■ for 2 seconds or more during playback
Stop playback	◀▶•■ once during playback
Repeat the current track (Repeat Single Track function)	◀▶•■ twice during playback *To stop a single repeat, press ◀▶•■ once.*

Operation on the main unit

To	Press
Switch playback to the other side	◀▶•REPEAT during playback
Stop playback	■ (stop)
Repeat the current track (Repeat Single Track function)	◀▶•REPEAT for 2 seconds or more during playback *To stop a single repeat, press it again.*

Other tape operations

To	Press
Fast forward*	FF
Rewind*	REW
Play the next track / succeeding 9 tracks from the beginning (AMS**)	FF once / repeatedly during playback
Play the current track / previous 8 tracks from the beginning (AMS**)	REW once / repeatedly during playback
Play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	FF for 2 seconds or more during stop
Play the same side from the beginning (Rewind Auto Play function)	REW for 2 seconds or more during stop

* If ◀▶•■ on the remote control is pressed during fast forward or rewind, the Walkman switches to playback.

**Automatic Music Sensor

Listening to the Radio

1 Press BAND•RADIO ON to turn on the radio.

2 Press BAND•RADIO ON repeatedly to select the band: AM, FM or TV.

3 Press MENU on the main unit repeatedly and set "__" (the cursor) in the display of the main unit to TUNE MODE.

4 **For preset tuning**

① Press SET to choose PRESET.

② Press TUNE / PRESET + or – repeatedly to recall the desired preset station.

To use preset tuning, preset stations first (see "Tuning in to the Ready- preset Stations for Each Area" or "Presetting Radio Stations").

For manual tuning

① Press SET to choose MANUAL.

② Press TUNE / PRESET + or – repeatedly to tune in to the desired station.

Hold down TUNE / PRESET + or – for a few seconds to scan for stations.

To turn off the radio

Press RADIO OFF .

To improve the broadcast reception

- **For AM:** The Walkman has a built-in antenna. Reorient the Walkman horizontally to obtain optimum AM reception.
- **For FM or TV:** Extend the remote control cord (antenna). If the reception is still not good, press MENU repeatedly to set the cursor in the display to FM MODE. Then press SET to choose from "MONO" (monaural), "LOCAL" or none (stereo) for best reception.

To operate from the remote control

To turn on the radio, press RADIO ON / BAND • OFF for more than one second (while the tape is in stop mode only).
To select the band, press RADIO ON / BAND • OFF for more than one second while the radio is on.
To tune in or recall a preset station, press + or –.
To turn off the radio, press RADIO ON / BAND • OFF.

Tuning in to the Ready-preset Stations for Each Area (Manual Area Call)

For each of the nine areas in Japan (Sapporo, Sendai, Northern Kanto, Southern Kanto, Nagoya, Osaka, Hiroshima, Fukuoka and the Shinkansen), this Walkman is factory preset with frequency data for major stations receivable in the area. Once your present area is selected, you can tune in to the stations on the area by preset tuning. For the factory preset stations for each area, see pages 26 to 27 of the Japanese text.

Searching the Area Automatically — Auto Station Preset function

1. Press BAND • RADIO ON to turn on the radio.
2. Hold down BAND • RADIO ON until "AREA" is displayed.

   The unit automatically selects the area number for your present area and the factory preset AM, FM and TV on the preset numbers. Then, the FM frequency and "PRESET 1" will appear.

   If area number was not found, the unit automatically scans for AM, FM and TV stations and stores the ones that were received.
3. Tune in to the desired preset station by "preset tuning" (see "Listening to the Radio").

If the ASP function does not store your desired station, or if you want to customize the preset number for the stations, preset the stations manually (see "Storing Radio Stations Manually").

Selecting the Area Manually (Manual Area Call)

You can choose the area number manually.

1. Press BAND•RADIO ON to turn on the radio.
2. Press ENTER. The frequency digits will flash in the display.
3. Hold down BAND•RADIO ON until “AREA 1” flashes.
4. While “AREA 1” is flashing, press TUNE/PRESET+ or – repeatedly to select area number from 1 to 8 or “JR” and then press ENTER.
5. Tune in to the desired preset station by “preset tuning” (see “Listening to the Radio”).

Presetting Radio Stations

Once you store your favorite stations in memory, you can play them easily. You can preset up to 24 stations — 8 for each AM, FM and TV.

Tuning in to and Storing Radio Stations Automatically (Auto-Memory Scanning function)

1. Press BAND•RADIO ON to turn on the radio.
2. Press BAND•RADIO ON repeatedly to select AM, FM or TV.
3. Press ENTER until “A” appears in the display.
   The Walkman starts searching and storing stations.
   Then the preset number appears.

Note

- Do not remove the power sources until all the stations are stored.

Storing Radio Stations Manually (Manual-Memory function)

You can preset the stations in any order.

1. Press BAND•RADIO ON to turn on the radio.
2. Press BAND•RADIO ON repeatedly to select AM, FM or TV.
3. Press ENTER.
   The frequency digits will flash in the display.
4. Press TUNE/PRESET + or – repeatedly to tune in to the desired station and press ENTER.
   The preset number will flash in the display.
5. Press TUNE/PRESET + or – repeatedly to select the desired preset number and press ENTER.
   The station is preset to the number of your choice.

Notes

- If you cannot complete step 4 or 5 while the indications are flashing, repeat from step 3.
- If you preset a new station to the same preset number, the previously stored station will be erased.

To cancel the stored station

Follow the procedure above and in step 4, instead of tuning in to a station, press and hold TUNE/PRESET + or – until "– – – –" is displayed. Press ENTER while "– – – –" is flashing. The preset number will flash in the display. Press TUNE/PRESET + or – repeatedly to select the preset number you want to cancel and press ENTER.

Receiving Stations Outside Japan

1. Press BAND•RADIO ON to turn on the radio.
2. Press ENTER.
   The frequency digits will flash in the display.
3. Press and hold BAND•RADIO ON until "AREA 1" flashes.
4. While "AREA 1" is flashing, press TUNE/PRESET + or – to select "USA" or "Eur".
5. Press ENTER.

6 Press and hold BAND•RADIO ON until the preset number desplay changes to “A”, to store the radio stations (both AM and FM) automatically.

The Walkman starts searching and storing stations.

7 Tune in to the stations following the procedure of “Listening to the Radio”.

Area indication and frequency range

Area*	Frequency range FM (MHz)	AM (kHz)	TV
JPn (AREA 1-8, JR)	76-90	531-1 710	1 - 12ch
USA	87.5-108	530-1 710	–
Eur	87.5-108	531-1 602	–

* JPn: Japan
USA: USA, Canada, and Central and South America
Eur: European and other countries

To receive stations in Japan

Select “AREA 1 to 8” or “JR” in step 4 above.

Using the Menu

Adjusting playback modes

To select playback direction mode

Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to MODE. Then press SET to select the desired mode.

To play	Select
both sides repeatedly	
both sides once from the FWD side	

To skip a long blank space — the BL SKIP mode

When the BL SKIP mode is on, the tape is fast-forwarded to the next track if there is a blank space of longer than 12 seconds. You will hear repeated sets of three short beeps when skipping a blank.

On the main unit:

1 Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to BL SKIP.

2 Press SET to show "ON".

On the remote control:

1 Press MODE repeatedly to show "BL SKIP".

To play a tape recorded with Dolby* B NR system

Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to DD NR (Dolby noise reduction). Then press SET to show "ON".

* Manufactured under license from Dolby Laboratories.
"Dolby" and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

Emphasizing Sound

On the main unit:

1 Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to SOUND.

2 Press SET repeatedly to select the sound emphasis of your choice.

On the remote control:

1 Press SOUND repeatedly. With each press, the indications change.

The indications change as follows:

RV : Sound Revitalizer.
Emphasizes treble sound.
MB : Mega Bass.
Emphasizes bass sound (moderate effect).
GRV : Groove.
Emphasizes bass sound (strong effect).
no message : normal (no effect).

Note

- If the sound is distorted with the mode "GRV", turn down the volume of the main unit or select other modes.

Protecting Your Hearing — AVLS (Automatic Volume Limiter System)

On the main unit:
Press MENU repeatedly in the playback, stop or radio mode to set the cursor to AVLS in the display. Then press SET to show "☺".

On the remote control:
Hold down MODE until "AVLS" appears in the display.

To cancel the AVLS function

Press SET so that "☺" disappears from the display on the main unit.
On the remote control, hold down MODE again until "AVLS" disappears.

Note

• The AVLS setting will be canceled when you replace the battery.

Locking the Controls — HOLD Function

Slide the HOLD switch in the direction of the arrow to lock the controls of the Walkman or the remote control.

준비

건전지(별매품) 또는 충전식 배터리(부속품)을 준비하여 주십시오.

건전지

부속된 건전지 케이스를 부착한 다음 R6(AA 크기) 배터리 한 개를 극을 맞추어 넣습니다.

주의

- **최대 성능을 위해서는 Sony 알칼라인 배터리(전지)를 사용할 것을 권합니다.**

충전식 배터리

1. **부속된 충전식 배터리(NH-14WM(A))를 충전기에 극을 맞추어 넣습니다.**
2. **부속된 AC 전원 어댑터를 충전 스탠드에 연결하고 AC 전원 어댑터를 가정용 전원(주전원)에 연결합니다.**
3. **본체를 충전 스탠드 위에 올려놓습니다.**
   CHARGE램프가 점등됩니다.
   만충전하려면 약 6시간 걸립니다.
   충전이 끝나면 CHARGE램프가 꺼집니다.

배터리는 약 300회 정도 충전할 수 있습니다.

주의점

- **충전 중에는 본 기기를 사용하지 마십시오. 본 기기를 사용하려면 충전 스탠드에서 빼 주십시오.**
  - **충전 중에 본 기기를 사용하면 배터리가 충전되지 않습니다.**
  - **충전 중에 본 기기를 사용하면 고장의 원인이 됩니다.**
  - **충전식 배터리를 넣지 않은 상태에서는 본 기기를 충전 스탠드에 올려놓지 마십시오.**
    그렇지 않으면 고장의 원인이 됩니다.
- **일부 국가에서는 본 제품의 전원으로 사용하면 배터리의 처분 방법에 대하여 규제하고 있습니다. 현지 당국으로 문의하여 주십시오.**

AC 전원 어댑터에 관한 주의

부속된 AC 전원 어댑터 이외에는 사용하지 마십시오. 그 밖의 AC 전원 어댑터는 사용하지 마십시오.



플러그의 극성

배터리 교체/충전 시기

"▭"가 표시화면에서 깜박이면 배터리를 교체하거나 충전합니다.

전지 수명

(약 시간)	(JEITA*)
Sony 알칼라인 LR6(SG)**	
테이프 재생	36
라디오 수신	32

충전식 배터리(NH-14WM(A))	
테이프 재생	22
라디오 수신	22

Sony 알칼라인 LR6(SG)** 및 충전식 NH-14WM(A)	
테이프 재생	58
라디오 수신	54

* **JEITA(Japan Electronics and Information Technology Industries Association: 일본전자기계공업회)의 기준에 따라 측정한 값.(Sony HF 시리즈 카세트 테이프 사용)**

** **LR6(SG) Sony "STAMINA" 알칼라인 건전지(일본산)를 사용할 경우.**

주의

- **사용상태, 주위의 온도나 배터리의 종류에 따라서 배터리의 지속시간이 짧아지는 경우가 있습니다.**

테이프 재생하기

1 카세트를 넣고 HOLD 기능이 켜져 있을 때에는 HOLD 스위치를 화살표 반대 방향으로 밀어서 컨트롤 스위치류의 잠금을 해제합니다.

2 리모컨에서 ◀▶(재생)·■(정지)를 누르고 VOL로 음량을 조절합니다.(본체에서는 ◀▶·REPEAT를 누릅니다.)

리모컨에서 음량을 조절할 경우

본체의 VOL 컨트롤을 6정도로 설정해 놓습니다.

본체에서 음량을 조절할 경우

리모컨의 VOL 컨트롤을 최대로 설정해 놓습니다.

리모컨에서의 조작

목적	누르는 버튼
반대면의 재생으로 전환	**재생 중 ◀▶·■를 2초 이상 누른다.**
재생 정지	**재생 중 ◀▶·■를 한 번 누른다.**
재생 중인 곡을 반복한다 (1곡 반복 기능)	**재생 중에 ◀▶·■를 두 번 누른다.** ***1곡 반복 재생을 중지하려면 ◀▶·■를 한 번 누른다.***

본체에서의 조작

목적	누르는 버튼
반대면의 재생으로 전환	**재생 중 ◀▶·REPEAT를 누른다.**
재생 정지	**■(정지)**
재생 중인 곡을 반복한다 (1곡 반복 기능)	**재생 중에 ◀▶·REPEAT를 2초 이상 누른다.** ***1곡 반복 재생을 중지하려면 다시 한 번 누른다.***

그 밖의 테이프 조작

목적	누르는 버튼
고속감기*	**FF**
되감기*	**REW**
다음 곡/이후 9곡을 처음부터 재생 (AMS)**	**재생중 FF를 한 번/반복하여 누른다.**
재생 중인 곡/이전의 8곡을 처음부터 재생 (AMS)**	**재생중 REW를 한 번/ 반복하여 누른다.**
반대면을 처음부터 재생 (스킵 리버스 기능)	**정지중 FF를 2초 이상 누른다.**
같은 면을 처음부터 재생 (자동 되감기 재생 기능)	**정지중 REW를 2초 이상 누른다.**

* **고속감기나 되감기중 리모컨에서 ◀▶·■를 누르면, 워크맨은 재생으로 전환됩니다.**

****Automatic Music Sensor(자동 음악 센서)**

라디오 듣기

1 **BAND•RADIO ON을 눌러 라디오를 켭니다.**

2 **BAND•RADIO ON를 반복해서 눌러서 밴드를 선택합니다: AM, FM 또는 TV.**

3 **본체에서 MENU를 반복해서 눌러서 본체의 표시화면에 "__"(커서)를 TUNE MODE로 맞춥니다.**

4 사전설정 튜닝

① **SET를 눌러 PRESET를 선택합니다.**

② **TUNE/PRESET + 또는 -를 반복해서 눌러 원하는 사전설정 방송국을 호출합니다.**

사전설정 튜닝을 사용하려면, 우선 방송국을 사전설정하십시오("각 지역의 사전설정된 방송국에 맞추기" 또는 "라디오 방송국 사전설정하기" 참조).

수동 튜닝

① **SET를 눌러 MANUAL을 선택합니다.**

② **TUNE/PRESET + 또는 -를 반복해서 눌러 원하는 방송국에 맞춥니다.**

TUNE/PRESET + 또는 -를 몇 초간 눌러서 방송국을 선국합니다.

라디오를 끄려면

RADIO OFF를 누릅니다.

방송 수신을 좋게 하려면

- AM: **Walkman에는 안테나가 내장되어 있습니다. AM 방송이 가장 잘 들리는 방향으로 Walkman 방향을 변경하여 주십시오.**
- FM 또는 TV: **리모컨 코드(안테나)를 길게 늘어 뜨려 놓습니다. 수신이 그래도 좋지 않으면 MENU를 반복해서 눌러 표시화면의 커서를 FM MODE로 설정합니다. 다음에 SET를 눌러서 "MONO"(모노럴), "LOCAL", 표시없음(스테레오) 중에서 가장 잘 들리는 모드를 선택하여 주십시오.**

리모컨으로 조작하려면

라디오를 켜려면 RADIO ON/BAND•OFF를 1초 이상 누릅니다(테이프가 정지 모드에 있는 동안).
주파수대를 선택하려면 라디오가 켜져 있을 때에 RADIO ON/BAND•OFF를 1초 이상 눌러 주십시오.
사전설정 방송국을 맞추거나 호출하려면, + 또는 -를 누릅니다.
라디오를 끄려면 RADIO ON/BAND•OFF를 누릅니다.

각 지역의 사전설정된 방송국에 맞추기(수동 지역 호출)

일본의 9개 지역(삿포로, 센다이, 간토 북부, 간토 남부, 나고야, 오사카, 히로시마, 후쿠오카 및 신간센)에 대해, 본 워크맨은 공장출하시 그 지역에서 수신 가능한 주요 방송국의 주파수 데이터로 각각 사전설정되어 있습니다. 현재 사용자가 있는 지역을 선택하면, 사전설정 튜닝에 의해 그 지역 방송국에 맞출 수 있습니다. 각 지역의 공장출하시 사전설정 방송국에 대해서는 일본어 본문의 26페이지에서 27페이지를 참조하십시오.

지역을 자동 검색하기 — 방송국 자동 사전설정 기능

1. **BAND•RADIO ON을 눌러서 라디오 전원을 켭니다.**
2. **"AREA"가 나타날 때까지 BAND•RADIO ON을 누르고 있습니다.**

   본 기기에서는 현재 지역에 알맞는 지역 번호와 사전설정 번호의 공장 출하시 AM, FM 또는 TV가 자동 선택됩니다. 다음에 FM 주파수와 "PRESET 1"이 나타납니다.

   지역 번호를 찾지 못한 경우 본 기기는 AM, FM 또는 TV방송국을 자동 선국하고 수신한 방송국을 기억합니다.
3. **"사전설정 튜닝"을 사용해서 원하는 사전설정 방송국을 수신합니다("라디오 듣기" 참조).**

ASP 기능을 사용해서 원하는 방송국을 기억시켜 놓을 수 없을 때나 방송국의 사전설정 번호를 변경하고 싶을 때에는 방송국을 수동으로 사전설정하여 주십시오("라디오 방송국을 수동으로 저장하기" 참조).

지역을 수동으로 선택하기(수동 지역 호출)

지역 번호를 수동으로 선택할 수 있습니다.

1. **BAND•RADIO ON을 눌러서 라디오 전원을 켭니다.**
2. **ENTER를 누릅니다. 표시창에서 주파수가 깜박입니다.**
3. **"AREA 1"이 깜박일 때까지 BAND•RADIO ON을 누르고 있습니다.**
4. **"AREA 1"이 깜박이는 동안에 TUNE/PRESET + 또는 -를 반복해서 눌러서 1-8의 지역 번호 또는 "JR"을 선택하고 ENTER를 누릅니다.**
5. **"사전설정 튜닝"을 사용해서 원하는 사전설정 방송국을 수신합니다("라디오 듣기" 참조).**

라디오 방송국 사전설정하기

메모리에 원하는 방송국을 기억시켜 놓으면 간단히 들을 수 있습니다. 방송국은 AM, FM, TV를 각각 8개 방송국씩 최대 24개 방송국까지 사전설정해 놓을 수 있습니다.

라디오 방송국을 자동으로 맞추고 저장하기(자동 - 메모리 검색 기능)

1. **BAND•RADIO ON을 눌러 라디오를 켭니다.**
2. **BAND•RADIO ON을 반복해서 눌러 AM, FM 또는 TV를 선택합니다.**
3. **표시화면에 "A"가 나타날 때까지 ENTER를 누릅니다.**
   Walkman이 방송국 검색 및 저장을 시작합니다.
   그다음에, 사전설정된 번호가 나타납니다.

주의

- **모든 방송국이 저장될 때까지는 전원을 빼지 마십시오.**

라디오 방송국을 수동으로 저장하기(수동 메모리 기능)

방송국을 어떤 순서로든 사전설정할 수 있습니다.

1. **BAND•RADIO ON을 눌러 라디오를 켭니다.**
2. **BAND•RADIO ON을 반복해서 눌러서 AM 또는 FM, TV(일본 모델 전용)를 선택합니다.**
3. **ENTER를 누릅니다.**
   표시화면에 주파수 숫자가 깜박입니다.
4. **TUNE/PRESET + 또는 -를 반복해서 눌러 원하는 방송국을 맞추고 ENTER를 누릅니다.**
   사전설정 번호가 표시화면에서 깜박입니다.
5. **TUNE/PRESET + 또는 -를 반복해서 눌러 원하는 사전설정 번호를 선택하고 ENTER를 누릅니다.**
   방송국이 선택한 번호에 사전설정됩니다.

주의

- **표시등이 깜박이는 동안 단계 4 또는 단계 5를 완료할 수 없으면 단계 3번부터 반복합니다.**
- **새 방송국을 같은 사전설정 번호에 사전설정하게 되면 이전에 저장되어 있던 방송국은 지워지게 됩니다.**

저장된 방송국을 취소하려면

위의 절차를 따르고 단계 4에서 방송국을 맞추는 대신 "– – – –"이 화면에 표시될 때까지 TUNE/PRESET + 또는 -를 계속 누릅니다. "– – – –"이 깜박이는 동안 ENTER를 누릅니다. 사전설정 번호가 표시화면에서 깜박입니다.
TUNE/PRESET + 또는 -를 반복해서 눌러서 취소하고 싶은 사전설정 번호를 선택한 다음 ENTER를 누릅니다.

국외 방송 수신하기

1. **BAND•RADIO ON을 눌러 라디오를 켭니다.**
2. **ENTER를 누릅니다.**
   주파수 숫자가 표시화면에서 깜박입니다.
3. **"AREA 1"이 깜박일 때까지 BAND•RADIO ON을 계속 누릅니다.**
4. **"AREA 1"이 깜박이는 동안, TUNE/PRESET +나 -를 눌러 "USA"나 "Eur"를 선택합니다.**
5. **ENTER를 누릅니다.**

6 라디오 방송국(AM 및 FM) 이 자동 기억될 사전설정 번호 표시가 "A"로 변경될 때까지 BAND•RADIO ON을 누르고 있습니다.

Walkman은 방송국의 검색 및 기억을 시작합니다.

7 "라디오를 듣기" 순서에 따라 방송국을 맞춥니다.

지역 표시 및 주파수 범위

지역*	주파수 범위		
	FM(MHz)	AM(kHz)	TV
JPn (AREA 1-8, JR)	**76 - 90**	**531 - 1 710**	**1-12ch**
USA	**87.5 - 108**	**530 - 1 710**	**-**
Eur	**87.5 - 108**	**531 - 1 602**	**-**

* **JPn: 일본**
USA: 미국, 캐나다, 중미 및 남미
` **Eur: 유럽 및 기타 국가**

일본에서 방송을 수신하려면

위 4번 단계에서 "AREA 1에서 8까지" 또는 "JR"을 선택합니다.

메뉴 사용하기

재생 모드 조정하기

재생 방향 모드를 선택하려면

MENU를 반복해서 눌러 표시화면에서 커서를 MODE로 설정합니다. 그런 다음 SET를 눌러 원하는 모드를 선택합니다.

재생하려면	선택
양면 반복	
FWD면에서 양면을 한 번씩	

긴 공백을 스킵하려면 — BL SKIP 모드

BL SKIP 모드의 작동 중에 12초를 초과하는 공백이 있으면 테이프는 다음 곡으로 고속감기됩니다. 공백을 스킵하는 동안 3번의 짧은 비프음이 반복해서 들립니다.

본체에서:

1 MENU를 반복해서 눌러서 커서를 표시창의 BL SKIP에 맞춥니다.

2 SET를 눌러서 "ON"를 표시합니다.

리모컨에서:

1 MODE를 반복해서 눌러서 "BL SKIP"를 나타냅니다.

Dolby(돌비)* B NR 시스템으로 녹음된 테이프를 재생하려면

MENU를 반복해서 눌러 표시화면에서 커서를 DD NR(돌비 잡음 감소)로 설정합니다. 그 다음에 SET를 눌러 "ON"가 나타나게 합니다.

* **Dolby Laboratories의 사용허가 아래 제작되었음.**
"Dolby" 및 이중-D 심볼은 Dolby Laboratories의 상표임.

음질을 강조하기

본체에서:

1 MENU를 반복해서 눌러 표시화면에서 커서를 SOUND로 이동합니다.

2 SET를 반복해서 눌러 원하는 음 강조를 선택합니다.

리모컨에서:

1 SOUND를 반복해서 누릅니다. 누를 때마다 표시가 바뀝니다.

표시는 다음과 같이 바뀝니다.

RV : Sound Revitalizer(음향 재생기).
고음을 강조.

MB : Mega Bass.
저음을 강조(일반 효과).

GRV : Groove.
저음을 강조(강한 효과).

아무 메시지 없음 : 정상(무효과).

주의

- **"GRV" 모드에서 사운드가 왜곡될 때에는 본체의 음량을 줄이거나 다른 모드를 선택하십시오.**

청각 보호하기 — AVLS(Automatic Volume Limiter System: 자동 음량 제한 시스템)

본체에서:

재생, 정지 또는 라디오 모드에서 MENU를 반복해서 눌러 커서를 표시화면에서 AVLS로 설정합니다. 그 다음 SET를 누르면 "☺"가 나타납니다.

리모컨에서:

표시창에 "AVLS"가 나타날 때까지 MODE를 누릅니다.

AVLS 기능을 취소하려면

본체에서 "☺"가 사라질 때까지 SET를 누릅니다.

리모컨에서 "AVLS"가 사라질 때까지 MODE를 누릅니다.

주의

- **배터리를 교환하면 AVLS 설정은 취소됩니다.**

컨트롤을 잠그려면 — HOLD 기능

HOLD 스위치를 화살표 방향으로 밀어서 워크맨이나 리모컨의 컨트롤 스위치류를 잠급니다.

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月～金 午前9時から午後6時まで
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
- Fax ………………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00

eco info VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物型インキを使用しています。

Printed in Japan